

みやまの風

令和8年5月1日(金)発行 園長 露木 美紅



寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

～温かい空間の中で～

寄幼稚園は、いつも温かい空間が広がっています。少人数のよさを十分に生かした教師の環境の工夫がちりばめられています。

昨年度中に、好きな名前マークを選び、自分のロッカーに貼ったことで、進級後もスムーズに、保育室に入ることができました。

保育室では、お絵かき・写し絵などじっくりと遊びたい子には仕切りのあるスペースが設定されていて、集中して取り組める場が用意されています。また、少し体を動かして遊びたい子には、段ボールの空間を設定し、その中でぐるぐる回ったり、隠れたりして遊ぶことができるように工夫されています。

このように保育室の各コーナーはそれぞれ分かれています。子どもたちが、友だちの動きも見ながら、やりたい遊びがやりたい時にできるよう、見事に配慮されています。

また異年齢ペアをつかったことで、こすもす組・すずらん組のお兄さん・お姉さんは、ひまわり組の子を気にかけて、よくお世話をしてくれています。靴を脱がせた後、中まで手をつないで連れていってあげる子もいます。やってもらったひまわり組の子も自然に「ありがとう」の言葉が出てきます。

苗植えの時「土はやさしくかぶせるようにね」と自分が知っていることをていねいに教えたり、苗をおさえて植えやすいようにサポートしたり・・・自分ができるところを一生懸命考えて、しかもやりすぎないように接している姿は、何とも頼もしい光景でした。

ある日、すてきな場面を見ることができました。

園庭に行こうとしたAさん、テラスに水筒の水をこぼしてしまいました。すぐに雑巾を持ってきてふいてくれたBさん、さっと助けてくれた姿に関心しているとさらに感動する光景が見られたのです。靴をはいたAさんと手をつないだペアのCさんですが、なかなか園庭に行こうとしません。どうしたのかなと見てみると、しばらくして「先に行って大丈夫？」と雑巾を片付けているBさんに声をかけたのです。Cさんは、早く遊びたいと思っているAさん、また、雑巾で拭いてくれたBさん両方のことを考え、迷っていたのです。Bさんはにこっとほほえみながら「うん」とうなずき、その後自分もカラー帽子をかぶり、一人で園庭へと向かっていきました。

このCさんの小さな心の葛藤は、とても大きくて温かい心の育ちとなっています。そのCさんの温かい思いは、きっとAさんやBさんにこの先引き継がれていくことでしょう。これからもこのような温かい心のふれあいがいろいろな場でみられるのだらうととてもうれしく思いました。

Bさんと一緒に少し遅れて砂場に行くと、ウグイスの鳴き声とともに、子どもたちの楽しそうな笑い声と、夢中になって色水づくりや水路づくりをして遊ぶ姿がありました。



